Creative Enzymes®

ラクト-N-バイオシダーゼ、組換え

Cat. No. NATE-0855

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	Lacto-N-Biosidaseは、糖タンパク質および糖脂質の糖鎖の構造と機能をより良く研究するために、糖タンパク質分析中に使用されることがあります。この製品は、タイプI鎖オリゴ糖の特定の加水分解に使用でき、乳酸-N-バイオース（Gal β 1-3 GlcNAc）を副産物として生成しますが、タイプII鎖オリゴ糖の加水分解には使用できません。その結果、Lacto-N-Biosidaseは、タイプIとタイプIIの糖タンパク質および糖脂質の糖鎖を区別するために使用できます。α-1,3/4-フコシダーゼと併用することで、Lacto-N-Biosidaseはシアル酸ルイスxおよびシアル酸ルイスa構造を区別するのにも役立ちます。
用途	タイプI糖鎖を持つオリゴ糖の特異的加水分解と副産物ラクト-N-バイオース（Gal β 1-3 GlcNAc）の生成
別名	オリゴ糖ラクト-N-ビオシルヒドロラーゼ; ラクト-N-ビオシダーゼ

製品情報

由来	ストレプトマイセス属 142
形態	0.05% Brij-58を含むpH 5.5の50 mM酢酸ナトリウムバッファー中の溶液
分子量	60 kDa (SDS-PAGE)
濃度	1 μU/μl
***pH*安定性**	pH 4.0–10 (4°C, 16時間)
最適pH	pH 5.5
単位定義	1ユニットは、37°C、pH 5.5で1分間に1μmolのPA-lacto-N-tetraoseを加水分解するのに必要な酵素の量です。